

## むずむず脚症候群

推理小説では、意外なひとが犯人というのが多い。病気も、意外なことが原因だったということがある。

43歳のF子さん。「眠れないから、睡眠薬が欲しい」と言う。青白い顔で、元気がなく鬱<sup>うつ</sup>っばい。この頃、寝ようとするとき足がむずむずする。虫が這<sup>は</sup>っているようなイヤな感じだ。

足を動かすと軽くなる。が、じっとしていると、またむずむずする。そのため不眠が続いて、昼も体がだるいと言う。「下肢静止不能症候群(RLS)」「が疑わしい。

RLSは、日本では「むずむず脚症候群」とも呼ばれる。脚がむずむずして、動かさずにおれない病気だ。女性にやや多く、貧血になりやすいひとや妊婦さんが罹<sup>かか</sup>りやすい。

脳内の鉄分が欠乏して、神経伝達物質であるドーパミンが減ったり、ドーパミンの働きが悪くなるのが原因ではないかという説がある。珍しい病気ではない。遺伝的な要素が関係して、子供でも発病するから注意が必要だ。

さて、F子さんの治療をどうするか。希望の睡眠薬は、足の違和感がなくならないのに眠気だけが強くなる。逆に症状をひどくするので、使わないほうが良い。鬱<sup>うつ</sup>っばいからといって抗うつ剤など処方すれば、症状は進行するだけだ。まずは、ドーパミン作動薬などを使うが、それで終わらない。ひどい貧血なのだ。すぐに婦人科に紹介した。

整理してみよう。F子さんの訴えは、不眠であった。その原因が足のむずむずである。が、その原因は脳の異常。その脳の異常を起こしたのは貧血だ。つまり、真犯人は婦人科の病気による貧血だったのである。

で、F子さんに笑顔が戻って、すっかり気をよくしたワッシー迷<sup>めい</sup>探偵。青白い顔の患者さんを診<sup>み</sup>ねば、「足がむずむずしない?」と聞いている。いつも柳の下(ごご)のように居<sup>お</sup>らぬ、というので。

(石黒修三「いしへろクリニック・脳神経

外科専門医…5/24北國新聞掲載)